

# 環境楽習塾を開催しました

令和3年度の第2回目の環境楽習塾を開催しました。

7月31日(土)は『里山整備を知ろう①』をテーマに、世界と日本の森林の現状や里山の活用方法を学び、ノコギリを使った簡易な里山整備体験をしました。

講師は、特定非営利活動法人ぎふ木と森の学校の片岡伸輔理事長です。



講座の初めは、座学で世界と日本の森林の現状について学びました。

世界で見ると、陸地面積の約3割が森林に覆われており、日本で見ると国土の約7割を森林が占めているそうです。

また、岐阜県で見ると、県土面積の約8割を森林が占めており、私達は森に身近な環境で生活をしていることを知りました。

かつて、人々は森林から食料や燃料など自然の恵みを得て生活していました。このように、人里近くにある生活に結びついた山や森林のことを『里山』と呼ぶことを学びました。

里山から生活に必要な資源を繰り返し得るためには、人の手でしっかりと管理をしていく必要があることがわかりました。



座学の後は、里山クラブ可児の大見さんの案内により我田の森の里山散策をしながら、木々が生き茂っている場所の里山整備をしました。

道中、里山クラブ可児のみなさんがこれまで整備されたたんぼや畑、水路、自力で建設された山小屋やオープンデッキなどを紹介いただきました。



山小屋（大岩夢工房）付近に針葉樹と広葉樹が混ざった林があり、細い木や枝が重なり合った木がいくつか生えていたため、ノコギリを使って伐採体験をしました。

枝が広がり過ぎて日光が地面に届かなかった場所も、伐採することにより光が差し込むようになり、まわりが明るくなりました。



我田の森の赤松の林でも伐採体験をしました。細い枝もあれば太い枝もあり、ノコギリで一生懸命に枯れた枝を払いました。払った枝を一ヶ所に集めるとかなりの量になり、うっそうとしていた赤松の林が明るくなり、景観がよくなりました。

散策の最後に、我田の大岩まで登り、山々に囲まれた可児市の景色を眺めました。この日は非常に気温が高く、蒸し暑かったですが、参加者の皆さんは汗を拭いながら里山散策と伐採体験を楽しんでいました。



### 【参加者の声】

- ・自然のある有難さや大変さを同時に感じるとともに、大切さを痛感しました。
- ・暑くて大変でしたが楽しかったです。
- ・可児市には様々な場所をボランティア団体が整備して、市内外の方をまねき入れている。この活動は森林、里山、環境整備につながるため増えるとよい。

可児市役所環境課

所在地/〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地

☎0574-62-1111 ☑kankyo@city.kani.lg.jp

※詳細は可児市役所ホームページをご参照ください。

🌐 <https://www.city.kani.lg.jp/>

環境楽習塾は、「清流の国ぎふ森林・環境税」を財源とした森林・環境基金事業です。

